

9月 月例報告

みなさんお元気ですか？

私は元気です。

レポート遅れてしまい、申しわけありません。

9月末に雷の影響でしょうか、パソコンが壊れてしまいました。修理にだしたのですが、日本のパソコンなので中々治らず…

やっと帰ってきました。

しかし、まだHDが壊れているみたいで、いつまた壊れるの分かりません。そんな危うい状況ですが、レポートを送ります。

9月はいろいろと波がありました。

前半は精神的、肉体的にかなり辛く大変でした。

私のホストブラザーがメキシコに留学してしまい、この家の子供はほぼ私だけに…。あと3人のホストブラザーがいるのですが、2人は大学で週末にたまに帰ってくるぐらいで、もう1人は一緒に住んでいるのですが忙しいらしく遅くに帰ってきます。

そのため、夜ごはんも1人、サッカー中継見るのも1人…

その上、フェスタでの文化の違いに戸惑い、私の大好きなブラジルでは“これが普通”というのが、すごくショックで、ここに来て初めて、ブラジルを少し軽蔑し嫌いになりました。

そんな精神的にダメージを受けているときに、食中毒になってしまい…

何をするのも辛く、もうダメになってしまうかと。

そしたら、私のブログを読んでいる日本の友達がメールで励ましてくれ、母からも喝が入り、寝込んでいる中、色々なことを考えさせられました。

ブラジルに来る前の、キラキラとした希望に満ちた私はどこへ行ったのだ？

私はたくさんの人にお世話になり、支えられブラジルに来たのに何をしているのだ？

自分のことは、自分でしっかりしなくては！！と自分で喝。

まずは、元気になるためには行動をしよう！と思い、落ち込んでいる私をすごく心配している、ホストマザーに自分の悩みを話しました。文化の違いですごく傷付いたことを話したら、「辛かったね」と言い、抱きしめてもらいました。いっぱい泣いてスッキリ！

そのときついでに、「暇なので習い事がしたい」と話したらOKしてもらいました。

サンバとポルトガル語を習う予定です。

この日を境に、話したいことはしっかり話そう！と思い、毎日マシガントークです。

またホストブラザーも留学に行きいなくなったので、ホストシスターとの会話を英語禁止に自分からしました。そのおかげか、この9月はポルトガル語が上達したと自分でも思います。家族には「なぎって、すごくおしゃべりさんだね」とか「明るくなって、面白い」とか言われました。久しぶりに帰ってきたホストシスターが、ポルトガル語が上達し話しまくっている私に驚き、「どうして？」と質問してきました。いっぱい話せることによって、日本の私に戻れた感じでとても嬉しいです。まだ、文法はグチャグチャなので、ブラジル人にはなりきれれていませんが…

また9月末に、初めて私の地区の留学生の集まりがありました。

2泊3日で工場を見学したり、カポエラを習ったり、良い経験ができました。

とても楽しかったのですが、最初は中々他の留学生との会話が困難で、すごく孤独なときがありました。

なぜかという、メキシコなどの南米の留学生は2月からブラジルに来ていて、またスペイン語はポルトガル語に似ているから彼らはポルトガル語がペラペラで、英語圏やヨーロッパの留学生は英語がネイ

タイプです。アジアは私1人で、私は英語もポルトガル語も中途半端だから大変でした。まあ私は、南米組よりは英語が話せるし、英語組よりはポルトガル語が話せるという、なんとも困った立場…

アジア1人で最初は辛かったのですが、私の持ち前の明るさと夜のフェスタでガッツリ踊ったおかげで、ほかの留学生に“あの日本人なかなか面白い”と思われ、一緒に踊ったりして仲よくなりました。また同じ家に泊まったカナダ人とも、すごく仲よくなれたので、今は次の集まりが楽しみです。

10月は学校の修学旅行やサンパウロへの買い物、またロータリアンの家に泊まったりしたので、そのことを報告します。

以上。 渡辺 なぎさ